

開催結果のお知らせ

1 会議名称

令和7年度大分県スポーツ推進審議会

2 開催日時

令和8年3月25日（水）14時00分～16時00分

3 開催場所

アートホテル大分

4 出席者

【スポーツ推進審議会委員】

板井委員、佐保委員、羽田野委員、小笠原委員、矢田委員、池部委員、由見委員、牧委員、高山委員、久士目委員、横山委員、大場委員、高橋委員、川原委員、竹田委員、穴井委員、梅木委員（17名）

欠席：小澤委員、平川委員、古賀委員

【県教育委員会】

山田教育長、山田教育次長

【事務局】

体育保健課 吉野課長 他10名、高齢者福祉課、県民健康増進課、障がい者社会参加推進室、スポーツ振興課、教育財務課、義務教育課

5 公開・非公開の別 公開

6 傍聴人数 0名

7 議事及び結果

【第1号議案 会長・副会長の選出について】

会長に大場委員、副会長に竹田委員、羽田野委員が選出され、承認された。

【第2号議案 令和8年度大分県スポーツに関する補助金・負担金案について】

事務局より、令和8年度のスポーツ関連補助金・負担金案が説明され、承認された。

・予算総額:8億3,115万6千円（昨年度比2,240万円増）。

・主な増額要因:国民スポーツ大会の参加費（物価高騰、開催地遠方化）と、中学校部活動地域移行推進経費の新規計上によるもの。

8 報告・協議

（1）第2期大分県スポーツ推進計画の進捗状況について

事務局より、計画の進捗状況を報告。全体では11項目中5項目が達成、4項目が概ね達成、2項目が著しく不十分という評価結果。

各テーマにおける主な報告内容と議論は以下のとおり。

- ・児童生徒の体力向上: 県内の体力水準は全国的に高く、教員配置や地域指導の成果が評価された。
- ・総合型地域スポーツクラブの充実: 会員数減少が課題で、マネジメント人材不足が指摘された。事業費だけでなく人材育成への予算シフトが提案された。
- ・競技力向上・トップアスリート育成: ジュニアアスリートの発掘・育成やアスリート就職支援、国際大会出場支援の報告があった。中学生からの強化支援や、引退アスリートの指導者としての定着促進の必要性が議論された。
- ・スポーツツーリズムの推進: 「ツール・ド・九州」の成功や合宿誘致実績が示され、地域活性化への貢献が強調された。
- ・スポーツ施設のあり方: 民間コンサルによる報告書が提示されたが、委員からは現場の意見が反映されていないことへの懸念が表明され、今後の議論での利用者意見の反映が求められた。
- ・障害者スポーツの推進: 大会開催や体験会実施、パラアスリート支援が報告された。施設の利用環境改善、情報発信強化、国際大会誘致への協力が要望された。

(2) 本県における学校部活動の地域展開について

- ・学校部活動の地域展開: 国のガイドラインに基づき、令和8年度から13年度にかけて休日の部活動地域移行を進める方針と認定制度を説明。地域クラブ活動と競技力向上のバランス、指導者の質と安全管理、特別支援学校への展開などが活発に議論された。

(3) 第2期大分県スポーツ推進計画の改定について

事務局より、計画改定の基礎となる県民意識調査結果を報告。今後、この調査結果を基にフォローアップ委員会を設置し、具体的な内容を検討し、意見聴取やパブリックコメントを踏まえ計画を策定する予定。司会者より、子どもたちがスポーツをより楽しめる環境整備への関係者連携が提案された。

(その他) 推進計画の改定に係る意見等

- ・スポーツ施設の検討では、利用者意見を十分に反映し、透明性のある議論を進めてほしい。
- ・総合型地域スポーツクラブの人材育成支援をしてほしい。
- ・アスリート育成では、早期強化支援と引退アスリートの指導者定着促進策を検討してほしい。
- ・部活動地域展開では、クラブ関係者のマネジメント能力向上支援や保護者への情報提供を強化し、円滑な地域展開を推進してほしい。
- ・障害者スポーツ推進では、施設利用改善、情報発信強化、特別支援学校との連携強化を検討してほしい。

8 問い合わせ先

担当課 体育保健課 生涯スポーツ班
電話番号 097-506-5645